

ハンガリーで医師目指せ

医師を目指す熱意ある学生が上たれ。ハンガリーの国立大三校の医学部がこのほど、日本からの留学生計約三十人を受け入れることになった。入学選抜では成績以上に「心意気」を重視。日本の私立大より格安の学費も魅力だ。

受け入れるのは、セメルイス、セゲド、ペーチの各国立大。対象は高卒か今春卒業見込みの学生で、入学は今年九月。準備コース(二年間)と医学部(六年間)でいずれも各五人ずつ募集する。

医学部は、TOEFL五百点以上の英語力が要だが、準備コースは高校の成績など書類審査と面接で選抜。医学部の授業に対応できる英語力や基礎学力を一年間かけて身に付けた後、医学部に進級する。

初年度費用(入学金と授業料)は準備コースが約百四十万円。医学部が約百八十四万円。六年間でも約七百四十万円と日本の私立大に比べて格安だ。

ハンガリーの国立大医学部は約二十年前から英語で授業を行っており、医学水準も高い評価を受けているという。

留学を仲介する海外進学センター(本部・東京都新

選抜は「心意気」重視 格安の学費も魅力

宿区)は「日本の医学部入試は偏重価値偏重で私立の授業料も高い。胸気の人を助けたらという高い志を持った若者に来てもらいたい」と話す。

厚生労働省は「外国の医学部を出た場合、医師国家試験受験資格の有無は個々の単位の修得状況をもて判断される。ハンガリーの国立大の場合、きちんとカリキュラムをこなしてくれば、受験資格はおそらく得られるだろう」としている。受け付けの締め切りは三月末。問い合わせは同センター、03(5332)6671。